

## 山形大学校友会専門委員会（第17回）議事録

平成27年5月28日（木）  
15時05分～16時47分  
山形大学事務局役員会議室

### （議 題）

- 1 平成26年度事業報告及び収支決算について
- 2 平成27年度事業計画及び収支予算について
- 3 平成28年度以降の校友会「継続事業」の取り扱い及び事業評価方法等の検討について
- 4 山形大学校友会会則及び山形大学校友会専門委員会規程の一部改正について
- 5 その他
  - (1) 「山形大学卒業生の皆さまへのアンケート」の実施について
  - (2) 卒業生の「人財バンク登録事業」の活用について
  - (3) 「山形大学卒業生若手の集い」について
  - (4) 平成27年度山形大学OB&OGセミナーの開催について
  - (5) その他

### （出席者）

委員長： 酒井順一  
委 員： 國方敬司、佐藤和佳子、大場好弘、岩城功希

### （欠席者）

委 員： 丹野憲昭、神戸士郎

### （列席者）

小関エンrollment・マネジメント部長、鈴木EM企画課長、  
大沼校友会事務局長、山口校友会事務局次長

議事に先立ち、事務局から、本年4月に校友会理事の改選が行われたが、未だ本専門委員会委員が選出されていないため、本日は慣例により前年度までの専門委員会委員で審議いただくことになっている旨説明があった。

#### 1 平成26年度事業報告及び収支決算について

委員長から本件について提案があり、事務局から、「平成26年度事業報告一覧」、「平成26年度事業報告書（個別）及び「平成26年度収支決算書（案）及び監査報告」について資料1-1、資料1-2及び資料2に基づき説明があった。

また、丸山、寒河江の両監事による会計監査も行われ、特段の指摘事項等がなかった旨併せて報告があった。

次いで、委員長から本件について諮られた結果、原案どおり了承され、次回の理事会へ提案することになった。

#### 2 平成27年度事業計画及び収支予算について

委員長から本件について提案があり、事務局から、「平成27年度事業計画書提出一覧」、「平成27年度事業計画書（個別）」及び「平成27年度収支予算書（案）」等について資料3-1、資料3-2、資料4-1、資料4-2及び資料4-3に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 平成 27 年度の申請件数は、継続事業 19 件及び新規事業 11 件の合計 30 件で申請総額 40,102 千円となっている。
- (2) 平成 27 年度の予算案については、収入は一般会員からの会費収入の若干増を期待して 2,010 万円を見込み、繰越金 1,367 万円と合わせて総額約 3,300 万円となるが、運営費を含めた支出総額は 2,676 万円程度としたい。
- (3) 事業の審査に当たっては、「平成 27 年度事業計画書に係る審査方針等(資料 4-2)」を基本としたい。
- (4) 今年度で 3 回目となる「山形大学卒業生講演会 (No.11)」は、地域教育文化学部同窓会様と共同開催したいと考えている。
- (5) 「山形大学実践教育プログラム～ (No.17)」は、昨年度とほぼ同じ内容であるが名称を変更した事業である。
- (6) 「学生中心に行う優良企業訪問への支援 (No.20)」と「科学で東北盛り上げ隊への支援 (No.21)」は昨年度で 5 年間の継続事業が終了したので、今回の申請は新規事業として取り扱う。
- (7) 「新興国学生大使派遣プログラム (No.22)」は、昨年度、継続事業として認められていた「学術交流協定校への超短期学生派遣プログラム」をリニューアルして、新規事業として申請されたものである。
- (8) 「卒業生の人財バンク登録事業を活用した学生支援事業 (No.23)」、「校友会会員となった新入生への入会記念品の贈呈 (No.24)」及び「若手卒業生の組織化支援 (No.25)」は、いずれも校友会の主催事業として取り組むたいと考えている。  
なお、No.24 については、昨年度まで予備費の中で実施していたものである。
- (9) 「国立科学博物館『発見！体験！先端研究@上野の山シリーズ』企画～ (No.29)」は、国立科学博物館と山形大学との主催（米沢工業会共催）事業として、5/2(土)から 5/6(水)まですでに実施済みのものである。
- (10) 「国際理解のためのサマースクールの実施 (No.30)」については、昨年、全学的な広がりのある事業として展開されなければ、校友会から支援するのはむずかしい旨のコメントを付して採択通知を行っていたものである。

説明の後、委員長から、それぞれの事業について審査したい旨提案があり、事務局から、「採択額の検討資料(資料 4-3)」等に基づき順次説明の後、審査を実施した。

主な意見・要望等は次のとおり。

- 博士課程学生に対する「国際学会での研究発表を奨励する事業 (No.9)」は、支援の対象を大学院理工学研究科の学生だけでなく、他の博士課程学生にも広げること考えてもらいたい。  
また、その場合には、担当窓口となる事務局についても考慮する必要がある。
- 申請された事業の中には、本来、学部等として取り組むべきと思われるような事業も含まれているのではないか。
- 事業に係る経費要求に当たっては、より効果的で合理的な要求とされたい。
- 国立科学博物館と山形大学との主催による国立科学博物館でのイベントは、卒業生はじめ一般市民の方々に山形大学の存在感を知らしめる絶好の機会であり、評価したい。

種々審議の後、委員長から本件について諮られた結果、次のとおり了承され、資料整理の上、次回の理事会へ提案することになった。

|      |            |   |
|------|------------|---|
| 事業 1 | 継続 ( 70万円) | ・・・新たな取り組みを考慮し増額                                |
| ” 2  | 継続 (100万円) | ・・・前年度と同額                                       |
| ” 3  | 継続 ( 70万円) | ・・・前年度と同額                                       |
| ” 4  | 継続 (120万円) | ・・・前年度実績を考慮し増額                                  |
| ” 5  | 継続 (300万円) | ・・・前年度と同額                                       |
| ” 6  | 継続 (200万円) | ・・・前年度と同額                                       |
| ” 7  | 継続 (200万円) | ・・・前年度と同額                                       |
| ” 8  | 継続 ( 35万円) | ・・・前年度実績を考慮し少し減額                                |
| ” 9  | 継続 (120万円) | ・・・前年度と同額                                       |
| ” 10 | 継続 ( 50万円) | ・・・前年度実績を考慮し増額                                  |
| ” 11 | 継続 ( 40万円) | ・・・前年度と同額                                       |
| ” 12 | 継続 (100万円) | ・・・前年度と同額                                       |
| ” 13 | 継続 ( 30万円) | ・・・前年度と同額                                       |
| ” 14 | 継続 ( 30万円) | ・・・前年度と同額                                       |
| ” 15 | 継続 ( 30万円) | ・・・前年度と同額                                       |
| ” 16 | 継続 ( 45万円) | ・・・前年度実績等を考慮し減額                                 |
| ” 17 | 継続 ( 12万円) | ・・・前年度と同額                                       |
| ” 18 | 継続 ( 80万円) | ・・・前年度実績を考慮し減額                                  |
| ” 19 | 継続 ( 50万円) | ・・・前年度実績を考慮し増額                                  |
| ” 20 | 新規 ( 採 択 ) | ・・・5年経過でも必要な学生のキャリア支援<br>(100万円)                |
| ” 21 | 新規 ( 採 択 ) | ・・・5年経過でも学生中心の企画運営を評価し<br>増額 (20万円)             |
| ” 22 | 新規 ( 採 択 ) | ・・・事業名称の変更でも、学生のグローバル意識<br>の向上に資する必要な事業 (100万円) |
| ” 23 | 新規 ( 採 択 ) | ・・・所要額を精査し申請どおり (30万円)                          |
| ” 24 | 新規 ( 採 択 ) | ・・・所要額を精査し申請どおり (100万円)                         |
| ” 25 | 新規 ( 採 択 ) | ・・・所要額を精査し申請どおり (30万円)                          |
| ” 26 | 新規 ( 採 択 ) | ・・・所要額を精査し計上 (15万円)                             |
| ” 27 | 新規 ( 採 択 ) | ・・・所要額を精査し計上 (70万円)                             |
| ” 28 | 新規 ( 採 択 ) | ・・・所要額を精査し計上 (25万円)                             |
| ” 29 | 新規 ( 採 択 ) | ・・・所要額を精査し計上 (50万円)                             |
| ” 30 | 新規 ( 不採択 ) | ・・・学部単独事業<br>予備費 (100万円) ・・・「調整財源」として予算計上       |

合 計 (2, 322万円)

### 3 平成28年度以降の校友会「継続事業」の取り扱い及び事業評価方法等の検討について

委員長から本件について提案があり、事務局から本件に係る考え方等を整理したメモ(資料5)に基づき概ね次のような説明があった。

- (1) 平成28年度以降の「継続事業」の取り扱いや事業の評価方法については、専門委員会や理事会で引き続き検討することとしていた。
- (2) 資料5は、平成28年度以降の校友会「継続事業」の取り扱いや事業評価方法等を検討するに当たって考えられることを整理したメモである。

- (3) 年々継続事業が増加傾向にあり、このままで推移すれば、新規事業に回す経費がかなり厳しくなる。
- (4) 継続事業の現状をみれば、5年間で終了できるものは少ないのではないか。
- (5) 本件については、来年2月開催の校友会理事会において一定の方向性を出したい。

説明の後、委員長から本件について意見を伺いたい旨発言があり、概ね次のような意見があった。

- あらかじめ「継続事業」と「新規事業」を採択する経費の割合を決めておくという方法もあるのではないか。
- 5年間継続してやめることができない事業もあり、別途、校友会主催事業や学生グローバル化支援事業等は別の柱立てをすることも考えられる。
- 理事会が策定する一定のテーマの下で、部局として取り組んでもらうような事業を導入することも考えられる。

種々審議の結果、委員長から引き続き本件に関する意見や要望等を募ることとし、継続審議とすることとした。

#### 4 山形大学校友会会則及び山形大学校友会専門委員会規程の一部改正について

委員長から本件について提案があり、事務局から資料6に基づき概ね次のような説明があった。

- (1) 本件は、山形大学学術研究院規程が本年4月1日付けで施行され、教員は各学部等から学術研究院の所属となったことに伴う関係規則の一部改正である。
- (2) 校友会会則と校友会専門委員会規程の現行・改正案は資料6のとおりである。

説明の後、委員長から本件について諮られた結果、原案どおり了承され、次回の理事会へ提案することになった。

#### 5 その他

委員長から、その他として次の4項目について報告したい旨発言があり、順次、事務局から説明があった。

##### (1) 「山形大学卒業生の皆さまへのアンケート」について

本件について事務局から概ね次のような説明があり、次回の理事会に報告することとした。

(内容)

- ① 毎年、多くの同窓会支部総会に校友会事務局からも出席しており、その機会に卒業生の皆さんにアンケート(参考資料3)への協力をお願いすることとした。
- ② アンケートの内容は、卒業生の皆さんに学生の就職支援や学生時代のこと及び校友会メールマガジン配信の希望に関することをお聞きするものである。

##### (2) 卒業生の「人財バンク登録事業」の活用について

本件について事務局から概ね次のような説明があり、次回の理事会に報告することとした。

(内容)

- ① 平成 26 年度から、卒業生の人財バンクへの登録とそれを活用した学生支援事業を開始した。
- ② 参考資料 4 のとおり、初年度は 5 名の卒業生から人財バンクに登録いただいた。
- ③ 今年度は校友会事業として積極的に事業展開するとともに、外部の講師には、旅費と謝金を支給する。

### (3) 「山形大学卒業生若手の集い」について

本件について事務局から概ね次のような説明があり、次回の理事会に報告することとした。

(内容)

- ① 前年度、首都圏在住の一部の若手卒業生が「若手卒業生の集い」を計画していたが、さまざまな困難もあり実現には至っていない。
- ② 昨年度開催した卒業生等首都圏ネットワークの情報交換会や山形大学OB & OGセミナーには何人かの若手卒業生に参加いただいている。
- ③ 今年度は、これを一つのきっかけとして本件を校友会事業として組み入れ、東京や山形で実現したい。

### (4) 平成 27 年度山形大学 OB&OG セミナーの開催について

本件について事務局から概ね次のような説明があり、次回の理事会に報告することとした。

(内容)

- ① 本件は、平成 28 年 3 月 5 日(土)に山形大学東京サテライトを会場として開催するので、ご承知置きいただきたい。
- ② OB & OG セミナーにおける講演講師の候補者はじめ何か良いアイデア等があればお寄せいただきたい。
- ③ 大変好評であった平成 26 年度 OB & OG セミナーの参加者アンケートの集計結果は、参考資料 5 のとおりであるのでご覧いただきたい。

### (5) その他

特になし

## 配付資料一覧

- 山形大学校友会専門委員会 (第 17 回) 次第
- 山形大学校友会専門委員会旧委員一覧 (H27.3.31 現在)

[資料一覧]

- 資料 1-1 平成 26 年度事業報告一覧
- 資料 1-2 平成 26 年度事業報告書 (個別)
- 資料 2 平成 26 年度収支決算書 (案) 及び監査報告
- 資料 3-1 平成 27 年度事業計画書提出一覧
- 資料 3-2 平成 27 年度事業計画書 (個別)

- 資料 4-1 平成27年度収支予算書(案)
- 資料 4-2 平成27年度事業計画書に係る審査方針等
- 資料 4-3 平成27年度事業計画(案)
- 資料 5 平成28年度以降の「継続事業」の取り扱い及び事業評価方法等の検討について(整理メモ)
- 資料 6 山形大学校友会会則及び山形大学校友会専門委員会規程の一部改正について(案)

[参考資料]

- 1 山形大学校友会会則(改正前)
- 2 山形大学校友会専門委員会規程(改正前)
- 3 「山形大学卒業生の皆さまへのアンケート」の様式
- 4 卒業生の「人財バンク登録事業」の活用について(通知)
- 5 平成26年度山形大学OB&OGセミナー参加者アンケート結果
- 6 校友会専門委員会第16回議事録(H27.1.30)
- 7 校友会理事会第17回議事録(H27.2.13)
- 8 短期派遣留学報告書(平成25年度)  
－大学間交流協定大学への短期派遣留学生支援事業－
- 9 企業訪問報告書2015  
－山大生が企業訪問に行ってきました－
- 10 山形大学校友会会報 No.5